

2026年3月期 第1四半期 決算説明資料

対象期間：2025.4.1-6.30

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社

証券コード：8242

2025年8月1日



業績

- 連結業績は、主に百貨店事業の減益により、営業利益が対前年4割減
- 百貨店事業は、前年インバウンド売上急伸の反動・店舗改装に伴う売場閉鎖影響による粗利益減に加え、システム費等の販管費増もあり、減収減益
- 食品事業は、食品スーパーの売上好調が継続し、増収増益

業績予想

- 百貨店事業の事業環境は不透明感が継続も、連結営業利益は現時点で想定通りに進捗
- 上期・通期業績予想は変更なし

2026年3月期 第1四半期 業績

		対前年
総額売上高	2,733億円	▲31億円 ▲1%
営業利益	55億円	▲38億円 ▲41%
当期純利益	40億円	▲225億円 ▲85%

2026年3月期 業績予想 (2025年5月13日発表から修正なし)

		対前年
総額売上高	11,680億円	+84億円 +1%
営業利益	300億円	▲48億円 ▲14%
当期純利益	180億円	▲168億円 ▲48%

1 2026年3月期 第1四半期 業績

2 2026年3月期 業績予想

3 Appendix

本資料の記載について

- 本資料における記載金額は、億円表示の場合は億円未満を四捨五入、百万円表示の場合は切り捨てして記載
- 本資料における「総額売上高」は収益認識に関する会計基準適用前の数値を記載
- 2025年3月期第1四半期に新規連結した（寧波開発及び）寧波阪急ののれん金額を、同第4四半期に暫定値から確定値に修正したことに伴い、前年ののれん償却の金額を確定値ベースに遡及修正して記載
- 「親会社株主に帰属する当期（四半期・中間）純利益」は「当期純利益」と表示
- 「1Q」は第1四半期の数値、「1-2Q」、「1-3Q」、「3-4Q」、「1-4Q」はそれぞれの期間の累計値で記載

1 2026年3月期 第1四半期 業績

2 2026年3月期 業績予想

3 Appendix

連結業績

- 百貨店事業は、前年インバウンド売上急伸の反動・店舗改装に伴う売場閉鎖影響による粗利益減に加え、システム費等の販管費増もあり減収減益、連結営業利益は対前年4割減
- 当期純利益は前年1Qの特別利益（投資有価証券売却益、子会社株式の段階取得に係る差益等）計上の反動で大幅減

(単位：億円)

	2024年度 1Q	2025年度 1Q	前年増減率	前年増減額
総額売上高	2,764	2,733	▲1.1%	▲31
売上高	1,619	1,636	+1.1%	+17
営業利益	93	55	▲40.6%	▲38
経常利益	102	61	▲39.8%	▲41
当期純利益	265	40	▲85.0%	▲225

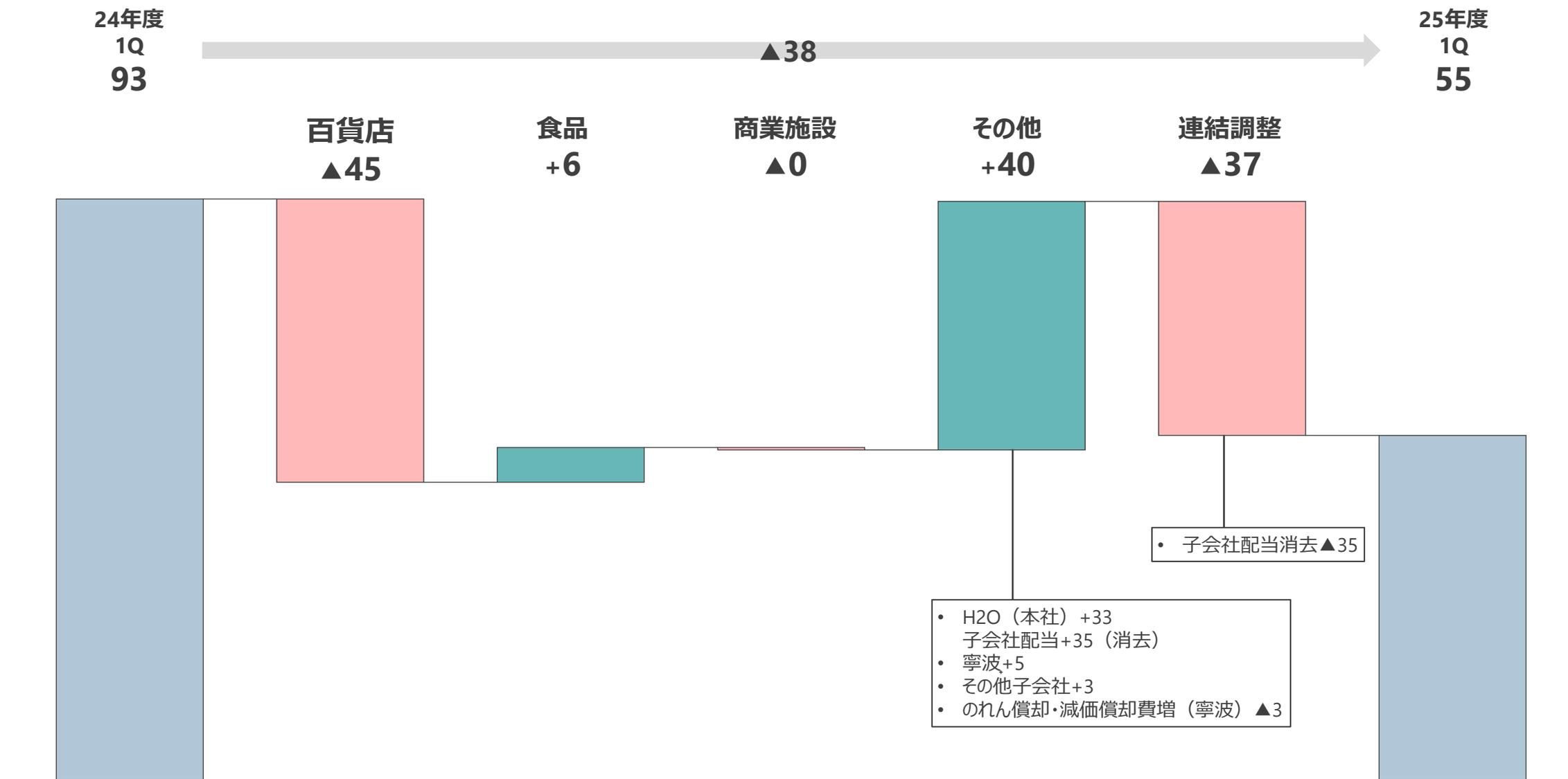
24年度1Q：特別利益 248億円

セグメント別業績

(単位：億円)

	2024年度 1Q	2025年度 1Q	前年増減率	前年増減額
百貨店	1,554	1,393	▲10.3%	▲160
食品	1,034	1,064	+2.9%	+30
商業施設	82	75	▲8.4%	▲7
その他	94	200	+113.3%	+106
総額売上高	2,764	2,733	▲1.1%	▲31
百貨店	80	35	▲56.6%	▲45
食品	15	21	+35.7%	+6
商業施設	13	13	▲2.9%	▲0
その他	66	105	+60.1%	+40
連結調整	▲82	▲119	—	▲37
営業利益	93	55	▲40.6%	▲38

セグメント別業績-営業利益増減要因 (対前年)



(単位：億円)

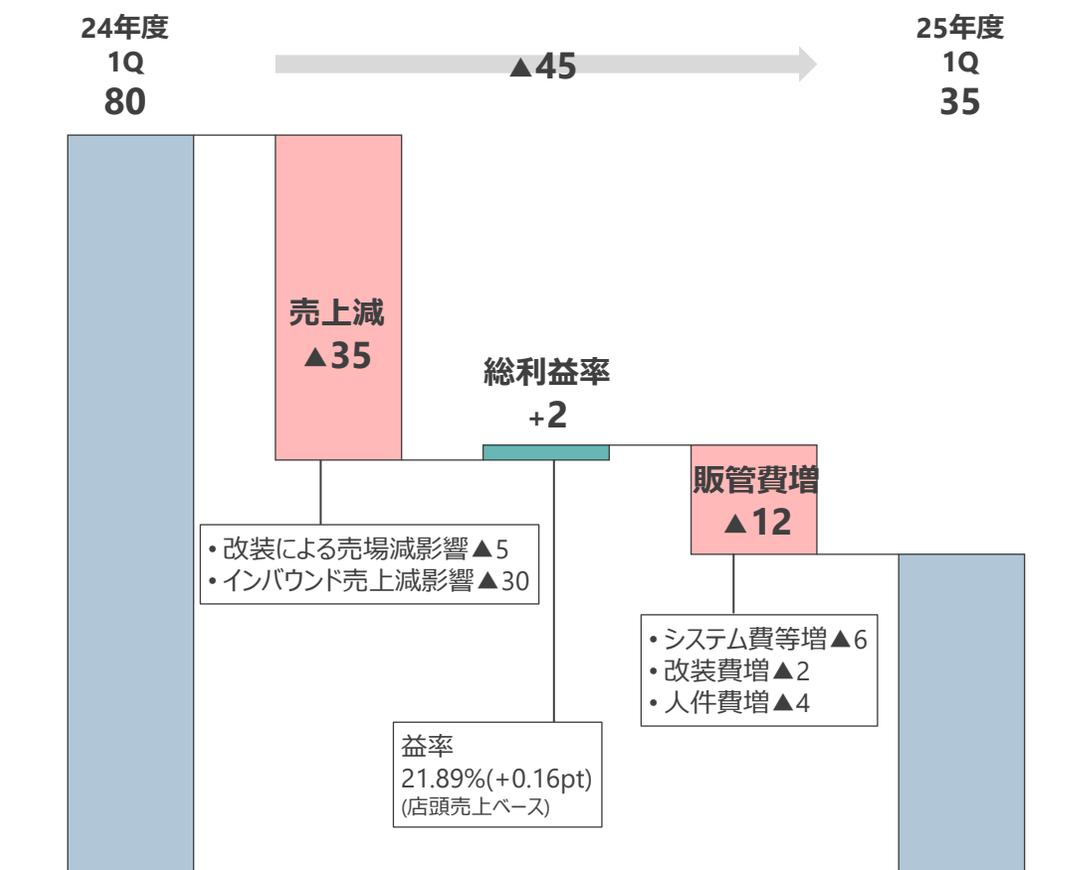
セグメント別業績-百貨店事業 (1/3)

- 国内売上は堅調も、インバウンド売上は高い前年実績に対し大幅に前年割れ
- 前年実績のない費用増もあり、営業利益は対前年6割減

(単位：億円)

	2024年度 1Q	2025年度 1Q	前年増減率	前年増減額
総額売上高	1,554	1,393	▲10.3%	▲160
売上高	457	417	▲8.9%	▲41
売上総利益	338	305	▲9.8%	▲33
販売管理費	259	270	+4.6%	+12
営業利益	80	35	▲56.6%	▲45

営業利益増減要因 (対前年)

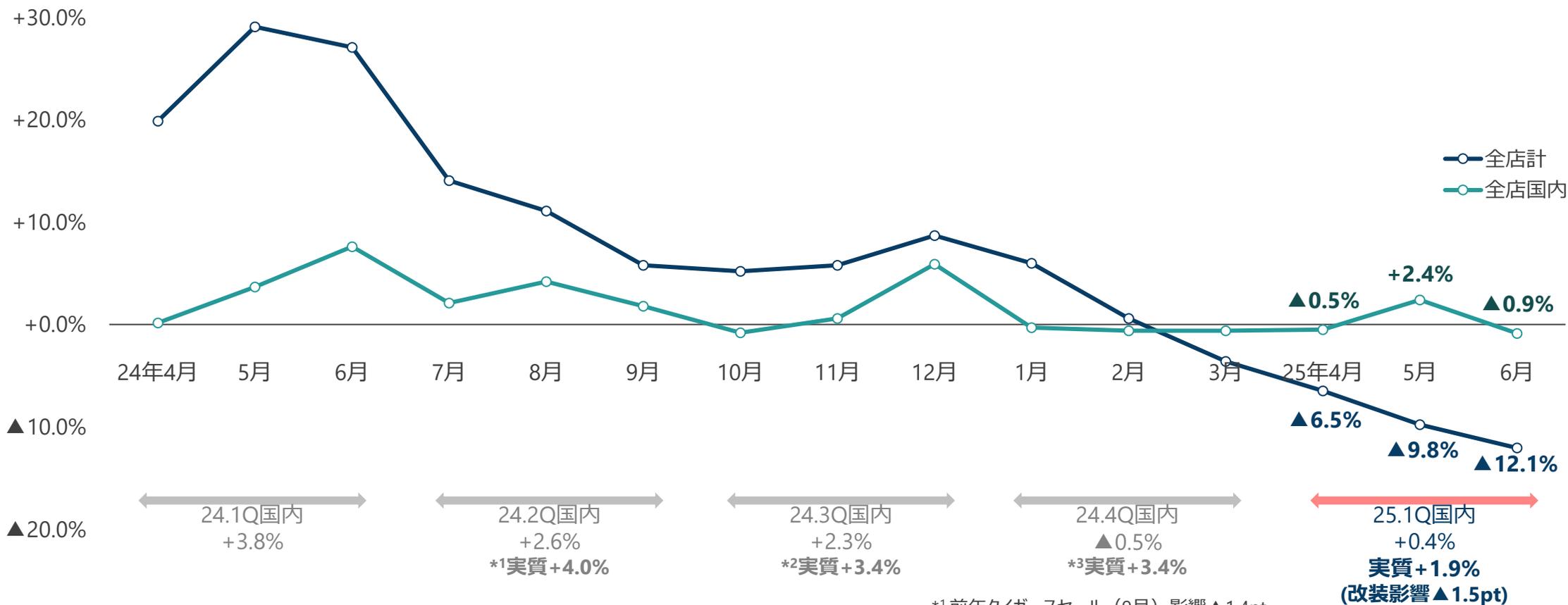


(単位：億円)

セグメント別業績-百貨店事業 (2/3)

- 1Q全店売上は前年1Qで急伸したインバウンド売上の反動減、改装工事による売場減影響（阪神梅田本店・川西阪急スクエア・阪急本店）により下げ幅が拡大し、対前年▲9.5%
- 1Q国内売上は（改装影響除く）実質ベースで対前年+1.9%と堅調、概ね想定通りに進捗

売上推移（全店計 / 全店国内）

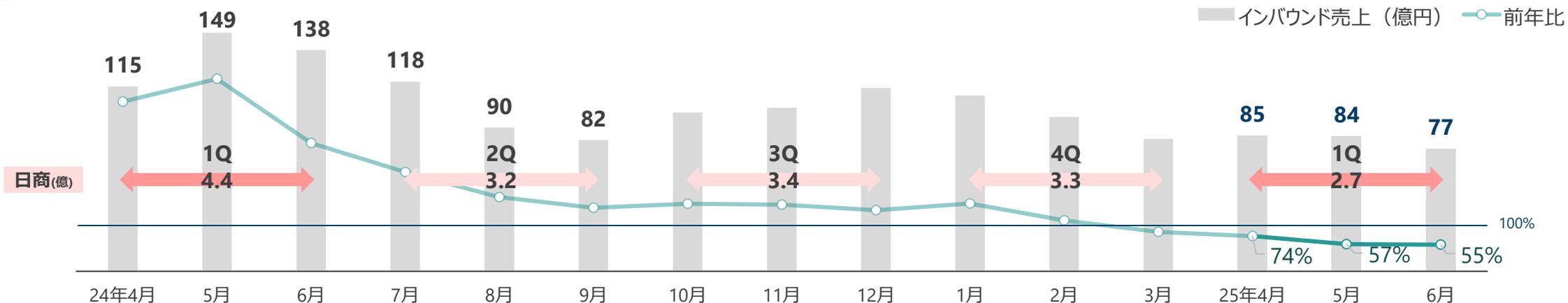


*1 前年タイガースセール（9月）影響▲1.4pt
 *2 前年タイガースセール（11月）影響▲1.0pt
 *3 改装影響▲2.3pt、営業日数▲1.7pt

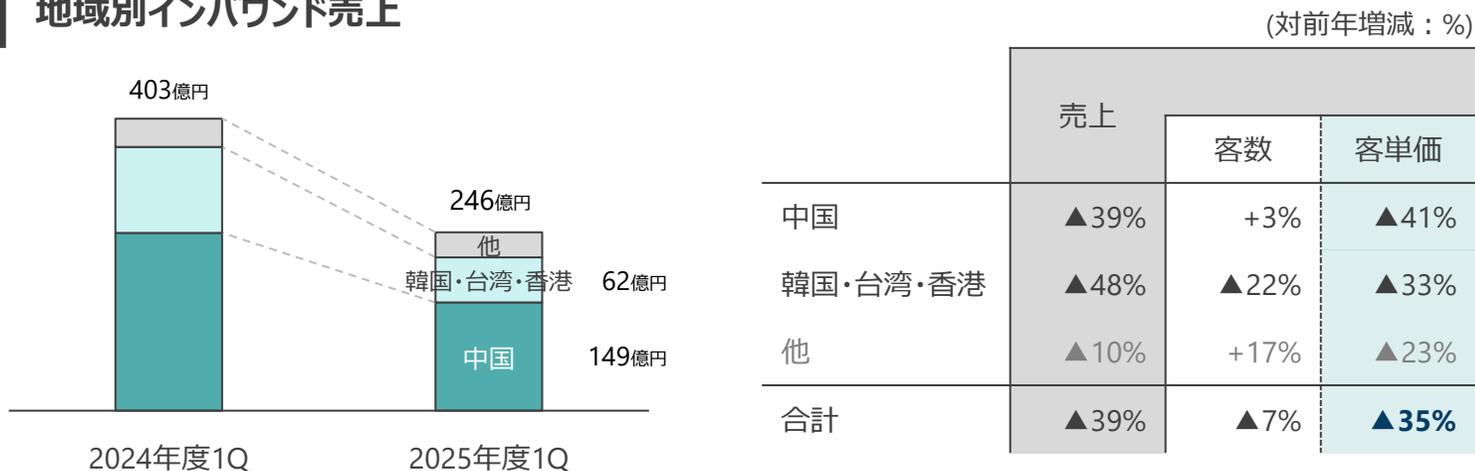
セグメント別業績-百貨店事業 (3/3) インバウンド売上

- 前年1Qの急伸（ラグジュアリーブランドの値上げ前駆け込み×円安）の反動により客単価が低下、売上は対前年4割減
- 1Qが最も前年ハードルが高く、2Q以降は前年並み水準を見込む

インバウンド売上推移



地域別インバウンド売上



- 客数
韓国顧客が大幅に減少も全体では▲7%と前年水準並み
- 客単価
前年1Qの急伸（ラグジュアリーブランドの値上げ前駆け込み×円安）に対し大きく前年割れ
- 売上
一般ツーリストの5割減に対し、海外VIP売上は1割減と下げ幅は限定的

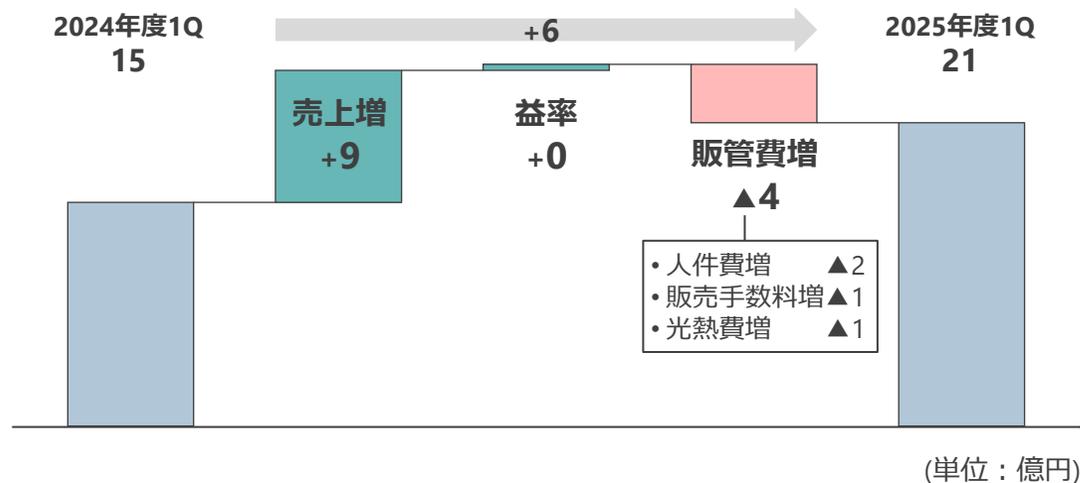
セグメント別業績-食品事業

- 食品スーパーの既存店売上が対前年+3.4%と好調を継続、人件費等の販管費が増加も売上増による粗利益増加が上回り増益

(単位：億円)

	2024年度 1Q	2025年度 1Q	前年増減率	前年増減額
総額売上高	1,034	1,064	+2.9%	+30
営業利益	15	21	+35.7%	+6

営業利益増減要因（対前年）



食品スーパー既存店売上（対前年増減率）

- ・ 継続的な値上げに加え、米価格上昇の影響もあり一品単価が上昇



食品スーパー新店舗フォーマット

- ・ 2025年4月にスタートした新店舗フォーマットの2店舗はそれぞれ予算比+10%超で推移

価値訴求型（Aタイプ）



価格訴求型（Cタイプ）



セグメント別業績-商業施設事業

- 子会社売却によりセグメント全体で減収
- ホテルを運営する大井開発は客室改装工事影響があるものの、客室単価アップにより増益

(単位：億円)

	2024年度 1Q	2025年度 1Q	前年増減率	前年増減額
総額売上高	82	75	▲8.4%	▲7
営業利益	13	13	▲2.9%	▲0

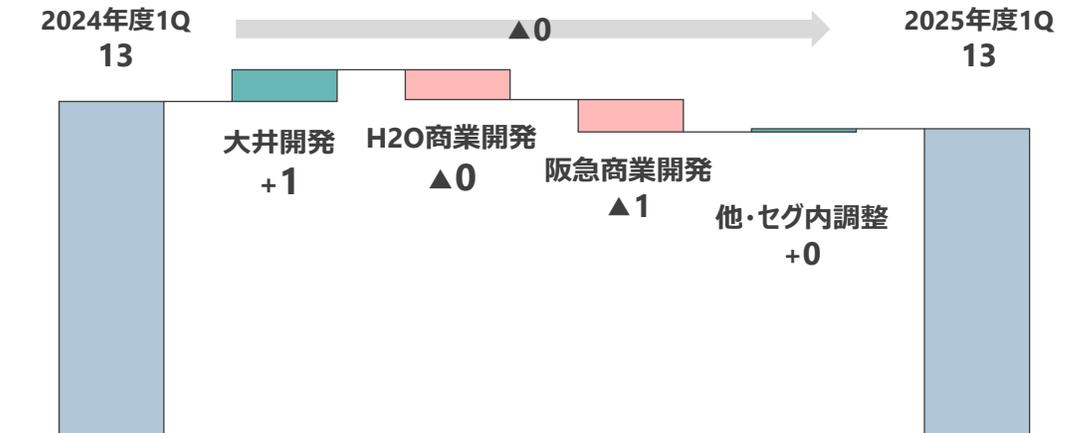
大井開発（アワーズイン阪急）の商況

- ・ 客室平均単価（ADR）は想定以上に上昇
- ・ 4月から客室改装工事を実施中、稼働率は前年からはダウン

客室平均単価
(ADR)
+20%程度
(対前年)

稼働率
87%

営業利益増減要因（対前年）



(単位：億円)

ショッピングセンター運営の商況・取り組み

- ・ H2O商業開発は気温影響もあり衣料品は苦戦も、大阪・関西万博会場に出店中のフードトラックは好調な売上が続く
- ・ 阪急商業開発は安定したテナント売上加え、インバウンド売上が嵩上げに寄与



フードトラック（大阪・関西万博会場）

1 2026年3月期 第1四半期 業績

2 2026年3月期 業績予想

3 Appendix

***2025年5月13日発表からの修正はありません。**

2026年3月期 連結業績予想

(単位：億円)

	2025年度 上期予想	2024年度上期	前年増減	2025年度 下期予想	2024年度下期	前年増減	2025年度 通期予想	2024年度通期	前年増減
	総額売上高	5,600	5,585	+0.3% +15	6,080	6,012	+1.1% +68	11,680	11,596
売上高	3,340	3,313	+0.8% +27	3,560	3,505	+1.6% +55	6,900	6,818	+1.2% +82
営業利益	110	150	▲26.7% ▲40	190	198	▲4.2% ▲8	300	348	▲13.9% ▲48
経常利益	116	159	▲27.2% ▲43	194	200	▲2.9% ▲6	310	359	▲13.7% ▲49
当期純利益	63	271	▲76.7% ▲208	117	78	+50.9% +39	180	348	▲48.3% ▲168

***2025年5月13日発表からの修正はありません。**

2026年3月期 セグメント別業績予想

(単位：億円)

	2025年度 上期予想			2025年度 下期予想			2025年度 通期予想		
	2024年度上期	前年増減		2024年度下期	前年増減		2024年度通期	前年増減	
百貨店	2,900	▲4.9% ▲150		3,265	▲1.0% ▲35		6,165	▲2.9% ▲185	
食品	2,165	+2.5% +53		2,235	+2.8% +61		4,400	+2.7% +115	
商業施設	150	▲6.2% ▲10		155	▲1.7% ▲3		305	▲4.0% ▲13	
その他	385	+46.5% +122		425	+11.6% +44		810	+25.8% +166	
総額売上高	5,600	+0.3% +15		6,080	+1.1% +68		11,680	+0.7% +84	
百貨店	92	▲27.1% ▲34		148	▲5.3% ▲8		240	▲15.0% ▲42	
食品	38	+3.1% +1		57	+8.4% +4		95	+6.2% +6	
商業施設	17	▲19.8% ▲4		16	▲11.1% ▲2		33	▲15.8% ▲6	
その他	81	+70.5% +33		▲31	— ▲5		50	+127.5% +28	
連結調整	▲118	— ▲36		—	— +3		▲118	— ▲33	
営業利益	110	▲26.7% ▲40		190	▲4.2% ▲8		300	▲13.9% ▲48	

*2025年5月13日発表からの修正はありません。

1 2026年3月期 第1四半期 業績

2 2026年3月期 業績予想

3 Appendix

(単位：億円)

	2024年度				2025年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	対前年
総額売上高	2,764	2,821	3,155	2,857	2,733	▲1.1%
売上高	1,619	1,694	1,836	1,669	1,636	+1.1%
営業利益	93	57	139	59	55	▲38
経常利益	102	57	140	59	61	▲41
当期純利益	265	6	104	▲26	40	▲225

Appendix セグメント別業績推移

(単位：億円)

	2024年度				2025年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	対前年
百貨店	1,554	1,496	1,766	1,533	1,393	▲10.3%
食品	1,034	1,078	1,130	1,043	1,064	+2.9%
商業施設	82	78	87	71	75	▲8.4%
その他	94	169	172	209	200	+113.3%
総額売上高	2,764	2,821	3,155	2,857	2,733	▲1.1%
百貨店	80	47	107	50	35	▲45
食品	15	21	32	20	21	+6
商業施設	13	8	12	6	13	▲0
その他	66	▲18	▲12	▲14	105	+40
連結調整	▲82	▲0	▲0	▲3	▲119	▲37
営業利益	93	57	139	59	55	▲38

Appendix 百貨店事業-業績推移

(単位：億円)

	2024年度				2025年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	対前年
総額売上高	1,554	1,496	1,766	1,533	1,393	▲10.3%
売上高	457	463	542	459	417	▲8.9%
売上総利益	338	327	390	330	305	▲33
販売管理費	259	280	283	281	270	+12
営業利益	80	47	107	50	35	▲45

Appendix 営業外損益・特別損益

(単位：億円)

	2024年度 1Q	2025年度 1Q	前年増減	主な増減項目
営業利益	93	55	▲38	
営業外損益	9	6	▲3	<ul style="list-style-type: none"> • 子会社株式取得関連費用の減少 +5 • 受取配当金の減少 ▲3 • 為替差益の減少 ▲2 • 為替差損の増加 ▲2 • 持分法による投資利益の減少 ▲1
経常利益	102	61	▲41	
特別損益	246	1	▲245	<ul style="list-style-type: none"> • 補助金収入の増加 +9 • 投資有価証券売却益の減少 ▲142 • 段階取得に係る差益の減少 ▲80 • 固定資産売却益の減少 ▲25 • 固定資産除却損の増加 ▲5 • 店舗等閉鎖損失の増加 ▲3
税引前利益	348	63	▲286	
法人税、非支配株主損益	84	23	▲61	
当期純利益	265	40	▲225	

設備投資

(単位：億円)

	2024年度 1Q	2025年度 1Q	主な内容	2025年度 1-4Q予想
百貨店	13	30	阪急本店・阪神梅田本店・川西阪急スクエア改装	144
食品	21	10	食品スーパー新規出店・店舗改装	63
商業施設	6	3	エイチ・ツー・オー商業開発店舗改装	26
その他	33	22	エイチ・ツー・オーリテイリングシステム投資	161
IT・DX	32	20		123
寧波	—	0		14
連結合計	68	64		395

減価償却費

(単位：億円)

	2024年度 1Q	2024年度 1-4Q	2025年度 1Q	前年増減
連結合計	48	235	61	+13

■ 投資有価証券の含み益増加により固定資産が増加、5月からの自己株買いにより自己株式が増加

(単位：億円)

総資産7,078 (前期末比▲227)



自己資本比率42%(前期末41%)

本資料の取り扱いについて

本資料に記載された情報については、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。

万が一、この情報に基づいて被ったいかなる損害に関しても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いませんので、ご承知おき下さい。

また、本資料の著作権は全て当社に帰属し、著作権法に定める私的利用の範囲を超えて無断で、複写・転載等することを禁じます。

**2026年3月期第2四半期決算発表は、
2025年10月31日（金）を予定しております。**